

会員報告

国際福祉機器展 2017

兵庫頸髄損傷者連絡会 島本 卓

はじめに

平成 29 年 9 月 27 日から 29 日の 3 日間、東京ビックサイトで開催されました。私は、27 日のお昼に姫路駅から学生ボランティア 1 名と一緒に新幹線で、宿泊するホテルの最寄り駅である JR 品川駅に向かいました。会場には、28 日と 29 日のお昼頃まで見学をしました。見学に行くにあたって、見たい製品をピックアップしていきました。興味と印象に残った製品の紹介と、宿泊についての報告をします。

宿泊にあたって

今回、国際福祉機器展の見学に行くにあたって、同じ宿泊をする当事者がいなかったのも、移乗面に不安がありました。私の思いは「自宅に近い環境で移乗がしたい」でした。そこで普段からお世話になっている福祉用具店を通して、兵庫県伊丹市にあるウェル・ネット研究所に相談することができ、移乗用リフト（トラベルトラック）をレンタルで借りることができました。吊り上げるモーター部分を別の機種のものに取り替える必要があったため、モーター部分の金具を加工、取り付けをしてくれたおかげで、宿泊先での移乗が安心して行えました。（写 1）



トラベルトラック

印象に残った製品

1. 私が興味を持って、欲しいと思った製品は電動車椅子「TDX-SP2」です。特徴としては、操作コ

ントロール部分はオプションで液晶に変更ができるというところです。操作登録時、今までリモコンをつないで設定をしていましたが、Bluetooth 機能を使って簡単に設定ができるようになりました。走行中のモーター音がとても静かでした。私がさらに気になったのが、モーション社によりシーティングが安定し座り心地がよくなっている。背もたれの後部分の配線がコンパクトに収納されています。（写 2）



TDX-SP2

2. パソコン入力の際、現在私はトラックボールを顎で操作を行っています。長時間操作をすると首への負担が大きくなるので、この機会にと思い探したところ「ZONO」という製品が出展されていました。この製品はヘッドホン型を頭にセッティングし、上下左右に頭を動かすことでマウスカーソルを動かすことができます。またジャイロ機能を使っていて、まっすぐに保つことができます。クリックもプレスでできます。実際、会場で製品を試してみましたが、少しの動きでも感知してくれるので、ベッド上でも使いやすいかもしれません。

まとめ

国際福祉機器展に見学に行くと、新製品を見学できるだけでなく、企業スタッフとの情報交換もできる機会だと思います。当事者の意見が製品につながり、自分らしい生活を描き、可能性を一步近づけるきっかけになると思いました。